

令和5年度 施設としての自己評価

瀬名 おひさまの森保育園

平素は瀬名おひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというときできていなかった 【2】どちらかというときできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
●保育内容(今年度の重点)		
・愛着についての理解と愛着形成の実践	4	子どもをとりまく環境をイメージして愛着を育んだ。0歳児は担当制を導入し、欲求を繰り返し受け止めることで人への愛着を育み、1歳児は安心してできる保育者の安定した配置をした。2歳児は主張の受け入れを最後までさせ納得できるまで関わることで人への信頼感を育んだ。
一人ひとりの子どもとの関係を深め、安定的な愛着が育まれるよう実践する。		
・子どもの意欲を伸ばす声掛けの検討と実践	3	昼礼やミーティング時間を設け、保育者の声かけが子どもにとってどのような育ちに繋がるか話し合ったり、子どもを尊重できていない不適切な声かけはしていないかを振り返りを行った。子どもの主体的に生活できるような声かけを意識して保育を行った。
その子にとっての最適な言葉選び、タイミングを職員間で検討し実践する。		
●施設設備		
・保育室環境について	4	玩具や物の配置が発達に見合ったものになっているか、保育に活かせる環境になっているかなど、様々な角度から多角的に捉え、安心・安全、かつ魅力的になるよう考え、その時々で変化させていった。
子どもの育ちに合った、安全で快適な環境を保つ。		
・園周辺環境の活用について	3	各公園の特徴を把握したり、土手や水路にはどんな季節が感じられる草木、生物がいるかなどを知ったうえで子どもの発達や興味にあったものを取り入れた。
地域を探らし環境知識を深め、発達を促すことのできる環境であるか見直す。		
●保健・衛生		
・感染症対策について	4	市からの情報や感染症ガイドラインを基に、子どもの命を最優先に考え予防と感染拡大防止の対策を徹底して行った。保護者に大事な情報をわかりやすく明確にお伝えできるように、掲示物や口頭でのお伝え等伝え方を工夫した。手洗い、消毒なども習慣化し安心して生活できるよう努めた。
職員が共通認識をもち、予防と拡大防止に努められるよう対策を明確に示す。		
●運営		
・行事のありかたについて	4	行事を行うことで子どもにもたらす育ちを職員間で話し合い、意味、意図をもって取り組んだ。行事の日だけ楽しむのではなく、その日が楽しみになるような事柄を日々の保育や生活に取り入れ行事当日までが繋がりのあるものとした。
行事がもたらす意味と価値を踏まえ、子どもの育ちが感じられる行事を検討する		
・保護者との連携体制について	3	家庭で大事にしていることは何かを聞きとり、想いを知り保育者も理解することで互いの役割を果たせるよう共通認識をもてるようにした。またその人だからその関わりを見だし子どもの育ちに貢献できるようにした。
日頃のコミュニケーションを密に行い、生活状況や考え方への理解を深め、協力して子どもを育てる体制をつくる。		
・危機管理について	4	市からの情報や事例を職員間で確認し、日々の行動を見直し検討、改善していった。緊急事態に備えてミーティング等でシミュレーション訓練を行った。不審者情報があった場合は保護者にも共有し、送迎時の注意喚起や施錠の徹底を行った。
市からの情報や事例を活用し、防犯対策や災害発生時の対応を見直す。		

【総評】

平素より、園へのご理解とご協力を誠にありがとうございます。
本年度は子ども達が日々、保育園で期待と楽しみを持って生活できるよう、主体性を伸ばすことに着目し保育の向上を目指して参りました。様々な園行事においても、その日一日を楽しむのではなく、保育園に集うみんなとその日を迎えることが楽しみになるような生活を送って来ました。やってみよう！できるよ！そんな意欲を育みながら日々を送ることができました。また保護者の皆様におかれましては、大切なお子様を自園にお預けいただけただけのこと心より感謝いたします。今後この園を選んで良かったと思っていただけのよう、地域の皆様の一員として、保育の質を向上させるべく日々精進して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

令和6年3月1日

園長 青木 聖乃

上記の園自己評価の結果を掲示とともに開示させていただきます。尚この掲示は3/1から来年度4/末日まで開示します。